

ぱれっと

2008
6月
No.106

■ 目次 ■

- P. 2～3 すぽっとらいと
P. 4～5 アラカルト
サポ本を読もう
サポセン広場
P. 6 サポセン日記
P. 7 イベント紹介
P. 8 お知らせ など

発達支援ひろがりネット
NPOいろは塾って何？
『一夜でわかる！NPOのつくり方』
貸室の使い方



色彩の調べ ～サヴァン展～

一枚一枚の絵を見ていると、なんだか元気がでてきます。ユーモラスな形に思わず笑みがこぼれます。サポセン1階で、知的障害者通所更生施設「こまくさ苑」の皆さんによる絵画展を開催中です。展示期間は、2008年4月～6月末。

すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

団体をつなぐネットワークと支援活動

発達支援ひろがりネット

教育現場で発達障害者への特別支援教育の取り組みが次第に進んできています。その裏には、発達障害者への支援や発達障害への理解を広める活動をしている多くの団体の努力があります。

今回は、そうした発達障害にかかわる団体のネットワーク団体である発達支援ひろがりネット事務局長の鈴木朋子さんと運営委員の中嶋廉さんにお話を伺いました。



▲ 設立総会

●発達障害とは

「発達障害」についてご存知ですか？

新聞やテレビなどで耳にすることも多くなりましたが、まだまだ社会的な認知が低いため、言葉は聞いたことがあるけれどもよくわからないという方も多いのではないのでしょうか。

発達障害に分類される主なものとしては、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などがあります。

これらは脳の機能的な問題によって生じるものですが、長らく法的な位置づけがなされていなかったため、制度的な支援の対象外となっていました。また、発達障害への社会的な認知が不十分なことから、親の育て方に原因があるなどに見なされたりもしてきました。

●支援法成立からひろがりネット立ち上げまで

そうした状況の転機となったのは発達障害者支援法の成立です。

全国の関係者による粘り強い働きかけの結果、2004年12月に発達障害者支援法が成立し（2005年4月施行）、これまで制度の谷間にあって教育・福祉サービスの支援対象にならなかった発達障害者が法的に認められ、制度的支援が受けられるようになったのです。

そのような折、東北福祉大学の阿部芳久先生より発達障害を持つ当事者や親のニーズを聞きたいという申し出があり、期せずして仙台の発達障害関係の団体が集まることになりました。複数の団体が宮城県でのネットワーク結成を提案しましたが、この時点では団体によってまだ温度差があったそうです。

そこで、まずは準備会をつくり、2006年11月宮城県民会館を会場に最初の情報交換会を開催しました。結果、300人も参加者を集める盛況となり、ネットワークをつくることでいろいろなこと

ができるということが、各団体の共通認識となりました。そして、2007年6月、阿部先生を代表とし、7団体の参加により発達支援ひろがりネットの発足となったのです。

複数の団体がかかると、運営していくのも難しかったのでは？という疑問に、「最初の情報交換会を始めるまでが一番難しく、ネットワークの有効性をみんなが理解してからはスムーズになった」とのこと。また工夫したことの一つとして、規約をつくるときに全員一致制を取り入れたことを挙げました。構成団体には小さな団体もあれば大きな団体もあります。みんなが賛成できることをひろがりネットとして行い、特定の課題については個々の団体で取り組むことで無理のない活動ができているようです。

●情報交換会と調査活動で議会も動いた

発達支援ひろがりネットができる後押しとなったのが情報交換会でした。団体の第一の目的が当事者とその保護者の支援であり、団体の重要な活動として位置づけられています。情報交換会では先進事例や関係諸機関からの取り組み事例の報告の他、活発な情報交換がなされています。

第1回目と第2回目の情報交換会は「ふくふくファンド（宮城労福協会社会貢献活動基金）」や「みやぎNPO夢ファンド」の助成金を受け、団体のスタートアップの資金としてうまく活用しました。

こうした情報交換会とともに活動の基礎となっているのが、現状を把握する調査活動です。これまでに、県内の高等学校や事業所へのアンケート調査を実施してきました。事業所への調査では、125事業所のうち34事業所から回答があり、その結果、身体・知的障害者は85名が雇用されているものの、発達障害者は1名しか雇用されていないという実態もわかりました。

この調査結果は、情報交換会でも発表され、また、その後の行政や議会への働きかけにも生かさ

団体紹介

発達支援ひろがりネット

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害にかかわる宮城県内の個人・団体が手をつないでつくる宮城県のネットワークです。発達障害のある人およびその家族の支援を行うとともに、発達障害に関する社会一般の理解向上を目指し、2007年6月に設立されました。現在は12の構成団体と1つの賛助団体で組織されています。

<団体連絡先>

〒980-0851

仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地 レターケースNO. 40

FAX 022-256-0533 E-mail hirogare@hotmail.co.jp



▲ 情報交換会の様子

れています。県議会の各会派へは調査結果を報告したほか、懇談会も開き、それが県議会での意見書の採択にもつながっています。

● NPO支援施設の活用

発達支援ひろがりネットでは、作業やミーティングといった日々の活動にサポセンなどNPO支援施設を活用しています。サポセンでは交流サロンや印刷作業室のほか、レターケースやロッカーも借りていて事務所的に利用してきました。また、活動において困ったことがあったり、助成金の情報が欲しいときには、サポセンのスタッフに相談したらいろいろな情報を提供してくれてとても助かったということでした。

5月からみやぎNPOプラザに事務所を借りることになりましたが、サポセンにもレターケースなどは残しておく予定です。街中のサポセンと専用駐車場のあるNPOプラザとで、人の集まりやすさで打ち合わせの場所なども使い分けていくそうです。

● 発達障害へ適切な理解を

発達支援ひろがりネットは、「発達障害について適切な理解を広めたい」と願っています。発達障害は個人差が大きく、その人に合わせた支援が必要です。発達障害を持つ人に合った適切な支援がどこにいても受けられるようにするのが活動の目標です。ちょっとした理解と配慮があるだけで解決できることも多いからです。

例えば、発達障害者には音に対してとても鋭敏な人がいます。運営委員の中嶋さんのお子さんもそうで、運動会の徒競走ではピストルの音に驚いてしまい、本来の力を発揮できなかつたそうです。しかし、ある学校ではそうした子どもに配慮して、スタートの合図をすべて笛にしたとのこと。これは一例ですが、少しの工夫と理解で解決できることがあることを示しています。

● みんなのよりどころを目指して

お二人に発達支援ひろがりネットの今後の目標や活動についてお伺いしました。基本は発達障害への理解と支援を広めるための情報交換会の開催に力を入れていきたいとのこと。

また、今年も年間を通じて開催する、独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業「ライフスタイル～発達障害から学ぶ」に参加協力することです。この事業はネットワーク構成団体である「煌の会」主催で、発達障害の理解を広げる活動です。宮城県内の複数の会場で、さまざまな発達障害にかかわる方をお呼びして、10回ほどの一般公開講座を行います。

また、県内には地域で活動している発達障害のグループがまだまだあるので、そうした団体とのつながりもつくっていききたいそうです。今後も当事者とその保護者のよりどころとして、ネットワークの広がりさらなる発展に注目です。

(担当：布田 剛)

構成団体 (12団体)	(2008年5月現在)
★宮城県自閉症協会	
★シエルの会	
★えじそんくらぶ「森杜」親の会宮城	
★古川ぐっぶの会	
★CSC親の会	
★宮城LD児・者親の会「ぼこあぼこ」	
★NPO石巻広域ソーシャルスキルトレーニングの会	
	アドベンチャークラブ
★(特活) みやぎ発達障害サポートネット	
★(特活) 自閉症ピアリンクセンター「ここねっと」	
★(特活) 「グループゆう」歩° 歩°	
★フリースクール煌	
★(特活) 黒川こころの応援団	
賛助団体 (1団体)	
★アットマーク 国際高等学校	

アラカルト

◆市民活動に役立つ情報やサポセンで開催された講座や事業の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

◆◆◆ NPOいろは塾ってなに？ ◆◆◆

90分でNPOの基礎を学べる、サポセンの人気講座「NPOいろは塾」が今年も5月22日から始まります。

そこで、今回は「NPOいろは塾」の人気の秘密をお伝えします。

■こんな方々に人気です！

NPOいろは塾は、これまでに、高校生からシニア世代まで幅広い年代の方々に参加いただいています。参加動機も様々ですが、「最近よく耳にするNPOって何だろう？」と疑問に思っ参加した方から、これからNPOとして活動を始めたい方など、「NPOに興味はあるけれどよくわからない」という方が多いようです。

他にも、NPOについて学びたい行政職員の方や、すでにNPOに関わっているけれど改めて「NPOとは？」という基本を確認したい方などにもおすすめの講座です。

■事例紹介を交えてわかりやすく

NPOいろは塾では、NPOの組織やしくみ、注目される理由などを解説するばかりではなく、「NPOはどうやって始まるの？」という疑問に答えるべく、実在のNPOが立ち上がる過程を事例として紹介します。個人の思いから活動が始まり、組織化していく過程を、具体的に知ることによって、NPOの成り立ちを学びます。



■サポートセンターの機能を探る ガイドツアー

NPOの基本を学んだあとは、サポートセンターのガイドツアーに出発します。交流サロンや印刷作業室を見学する他、図書や団体情報が集まっている情報サロンをご案内します。サポートセンターの様々な機能を知ることができるので、すでにサポートセンターを利用している方にとっても新たな発見があるかもしれません。



『一夜でわかる！
NPOの作り方』
著者：加藤哲夫
発行：主婦の友社
定価：1,365円（税込）

■サポセン図書
「市民活動・NPO全般 A-1」の
棚にあります。

◆サポセンの図書コーナーの本を紹介しします。

サポ本を読もう！

『一夜でわかる！NPOの作り方』

「NPO」や「NPO法人」などという言葉をよく耳にするけれど、実態がよくわからない。興味はあるのだけど、誰か詳しく教えて！そんな要望にお答えするのが本書です。

企業や行政と比べてNPOはなにが違うのか、NPOとはなにかを解説した第一章。NPOを作るうとするときの道筋や、組織の運営の基礎を伝える第二章。NPO法人設立について、そのツボと手順を伝授する第三章。各章とも多くの事例が紹介され、巻末にはすぐ役立つ情報源として本やサイトの情報付きです。

一夜でわかる！？テスト前の一夜漬けでもなかるうに…読んだだけでは、NPOはつくれません。これからは何か活動を始めたい方は、この本片手に行動を起こすもよし。すでにNPOで活動している方には、活動のステップアップに活用するもよし。なんかうまくいかないなあと思いつつ活動している方には、問題解決のヒントを的確に示してくれる一冊です。

（担当 葛西 淳子）

■手軽なワンコイン！
しかも便利な資料付き！

NPOいろは塾の参加費は、配布される資料、日本NPOセンター発行の『知っておきたいNPOのこと（全53ページ）』の代金込みで500円のみです。

この資料がとっても便利！なんです。「信頼されるNPOの7つの条件」「NPO基礎知識Q&A」の二部構成で、わかりやすくコンパクトにまとめられた一冊です。NPOいろは塾を受講した後にじっくり読んでいただくと、さらに理解が深まります。

■平成19年度のNPOいろは塾

<受講者の声>

- NPOとNPO法人の違いがわかりました
- どこかのNPOに参加してみたり、ボランティアをやってみたいと思いました
- 今回の受講者のみなさんと引き続き交流の場を持ちたいです



NPOについて学ぶ場としてだけでなく、NPOに参加するキッカケになったり、NPOに興味のある他の人たちとの交流が生まれることもあるようです。

■5月から来年2月まで毎月開催！

今年度は、5月22日(木)(19:00-20:30)を皮切りに、来年の2月21日(土)まで毎月開催します。平日の日中、夜間、土日など様々な日時に開催する予定です。下記日程をご確認の上、都合の良い回にお申し込みください(お申し込みは仙台市市民活動サポートセンターまで)。皆様の参加を心よりお待ちしております。

(太田 貴)

▼ 2008年度 いろは塾開催日程

		5月 22日 (木)	6月 19日 (木)	7月 26日 (土)	8月 21日 (木)	9月 19日 (金)	10月 4日 (土)	11月 16日 (日)	12月 19日 (金)	1月 22日 (木)	2月 21日 (土)
昼	14:30 ~ 16:00		●	●	●		●	時間 未定	●		●
夜	19:00 ~ 20:30	●				●				●	

サポセン広場

◆利用者の皆様から寄せられた声にお応えします。

交流サロンは、オープンスペースなので、他のグループの迷惑にならないよう、使用する時は心しなげなければならないと思いました。

そうですね。交流サロンをみなさんが気持ちよく使えるように、ご利用になる方々の心がけも大切ですね。ご意見ありがとうございます。

プロジェクターとパソコンをつなぐコードが、もっと長いものがほしいです。

プロジェクターとパソコンをつなぐコードは、プロジェクターのケースに入っているもの以外に、15mの物を窓口で貸出しています。また、操作等で不明な点があれば、スタッフまでお声掛けください。

◆サポセンのサービスがどんなふうに見えるのか、スタッフが日常の窓口風景をとおして紹介します！

サポセン日記

～ 貸室の使い方～



新年度が始まると、会社の支店や大学が多い仙台市には、新しい住人が暮らし始めます。そのような方々がサポセンに足を運んでくることも少なくありません。今回は、山形県で環境関係のNPOで活動し、パートナーの転勤で仙台に越してきたサポ子さんと一緒に貸室を借りてみましょう。

申込み編

■県外で活動してきたノウハウを、仙台でも活かしていこうと考えたサポ子さん、さっそく一緒に活動するメンバーを見つけたようです。会議の会場を探してサポセンに来館しました。

サポ子さん：サポセンは初めてなんですけど研修室を使用するにはどうしたらいいですか？登録制ですか？

スタッフ：いいえ登録制ではありません。サポートセンターは、市民活動やボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている市民団体のための施設です。施設の使用の際には、その都度、使用目的を確認させていただいております。今回はどんな内容でお使いですか？

サポ子さん：仙台市の環境NPOの取り組みと、他県での事例を学んで、もっと良い活動へつなげていくための会議で使いたいのですが…

■スタッフは、仙台市が定めた「仙台市市民公益活動の促進に関する条例」に則って、団体の活動内容や活動目的を確認します。



- 貸室の申込時に伺うこと
- 活動目的
 - 活動内容
 - 公益性
 - 非営利性
 - 組織性
 - 継続性
 - 等々

使用編

■サポ子さんたちは貸室の申込書に記入し、使用料を支払い手続きが完了したようです。

スタッフ：お渡しした領収書は、部屋の使用承認書も兼ねています。部屋の鍵の受け渡しの時必要ですので、忘れず持ってきてください。

サポ子さん：はい。それから、60名位を集めて環境教育セミナーの開催も考えているのですが…

スタッフ：セミナーホールをご利用されてはいかがでしょうか。定員120名で、サポートセンターでは一番大きなお部屋です。申込みは、準備・片付けを含んだ時間をお願いしています。貸室のカギは、使用開始の15分前からお渡します。

サポ子さん：セミナーの後の交流会で、飲食物を出したいんですが…

スタッフ：貸室内での飲食は可能です。ただ、空き缶や弁当箱などのゴミはお持ち帰りください。

サポ子さん：はい、わかりました。

スタッフ：その他、何かわからないことがあれば遠慮なくスタッフにご相談ください。

■サポさんは貸室の申込も終わり、いよいよ活動が始まるようです。セミナーの開催が楽しみです。

<一ロメモ 貸室の申込開始日>

- セミナーホールは使用日の6ヶ月前から、研修室は使用日の3ヶ月前から申込の受付をしています。
- 窓口に来られない方のために、電話での仮予約も行っています。予約日を含め7日以内にご来館の上、申込み手続きをお願いします。
- インターネットでのお申し込みはできません。



イベント 紹介

- サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
- 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
- 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。掲載をご希望の方はお問い合わせください。

6月



開催日	時間	イベントタイトル	貸室	参加費	主催	問い合わせ先
6/2 ～全 48回	10:00～ 12:00	脳トレ塾－認知症予防－ 月曜コースと火曜コース －対一のお相手と30分を過します	研修室2	月2,000円 (事前申込必要)	NPO法人 日本脳トレー ニング協会	TEL 022-373-1468 FAX 022-214-8551 (佐藤)
6/5 ～全 6回	18:30～ 21:00	あなたの心と身体、お疲れではありませんか？手技によるいやしのフットケアを学んで活用しましょう	研修室3	受講料：20,000円 申請テキスト代： 10,000円 教材費：7,000円 (事前申込必要)	JRFA足市場	TEL&FAX 022-223-9023 携帯 090-7564-9831 (森)
6/7	14:00～ 17:00	子どもの「非行」や「問題行動」に親としてどう向き合えばいいのか。その苦しさを分かち合いませんか？	研修室1	500円 (事前申込不要)	みやぎ「非行」と向き合う親たちの会	TEL 080-1838-7464 (星野はるか)
6/8	13:20～ 16:30	シニア元気笑学校・第5期3日目 1校時・エンディングプラン③ 2校時・歴史 3校時・交流	セミナー ホール	1,000円 (事前申込必要)	シニア元気 笑学校	TEL 022-248-3765 FAX 022-248-3775 ※申込はFAXで (校長・渡辺源治)
6/11	19:00～ 20:30	NPOのための チラシデザイン基礎講座	研修室2	1,000円 (事前申込必要)	メディアデ ザイン	TEL 090-3049-0613 FAX 022-224-5308
6/16	13:30～ 15:30	教育と福祉の先進国 フィンランドの図書館を見て	セミナー ホール	500円(会員 300円) (事前申込不要)	仙台にもっと 図書館をつく る会	TEL&FAX 022-221-4667 (川端英子)
6/24	19:00～ 20:30	NPOのための プレゼンテーション講座	研修室1	1,000円 (事前申込必要)	メディアデ ザイン	TEL 090-3049-0613 FAX 022-224-5308
6/29	10:00～ 16:00	県内外ケーススタディと英語指導法の ヒント＜仙台市内、新潟市の小学 校の先生による取り組み発表＞	セミナー ホール	一般 1,500円 学生 1,000円 みーさ会員 1,200円 (事前申込不要)	NPO法人宮城英 語教育支援協会 (NPOみーさ)	TEL 090-1399-3295 FAX 022-256-7977 (板垣)
6/29	13:30～ 15:30	心を癒す花の療法～バッチフラ ワーセラピーミニ講座(体験ボト ルを作ってみましょう)	研修室2	2,000円 (事前申込必要)	バッチネット ワーク東北	TEL&FAX 022-378-0832 (村上)

仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

●セカンドライフの相談を個別にそして段階に応じて受け付けます。

< 申込み・問合せ >

仙台市シニア活動支援センター（サボセン3階）
TEL 217-3983

●シニア専門相談＜無料／予約制／1組1時間程度＞		開催日	●まずは体験！マッチング交流会
相談日	テーマ／専門相談員	6/22 (日) 午後1時半 ～ 午後4時半	定年退職後、自分の住む地域に貢献する活動 をしたいと考えているみなさん！実際に活動 をしている方に、直接会って話して、活動に 参加してみませんか？ 在職の方も早めの準備をおすすめします！ ◇内容： ○講演会 ○交流会 ○地域活動を行う団体の活動紹介と相談会 ◇場所：サボセン 6階 セミナーホール ◇参加費：1,000円 ◇事前申し込みが必要です。
6/14(土) 午前10時～ 午後6時	読んだり書いたり聞かせたり あなたを活かせる活動してみませんか？ ※専門相談員は交渉中		
●シニア総合相談＜無料／予約制／1組1時間程度＞			
相談日	テーマ／相談員		
6/26(木) 午後1時～8時	テーマを定めず、セカンドライフの相談に 幅広く応じます。 相談員：(特活)東北シニアアドバイザー協会 理事長 小菅文雄さん		

お知らせ

事務用ブースの 使用団体を募集します！

- 使用期間＝平成20年9月～平成21年8月
- 対象＝継続的に市民公益活動を行い、市内に専用の事務所を持たない団体(企業を除く)
- 募集数＝2ブース(予定)
- 設備等＝机、いす、ロッカー 面積約4㎡
- 使用料＝月額 7,000円
- 使用団体は、提出書類及び6月下旬開催予定の選考会での説明内容等をもとに選考で決定します。
- 申込受付期間＝6月11日～24日
9:00～21:00(日曜日は17:00まで)

サポートセンターのサービスあれこれ

- 貸 室
(研修室・セミナーホール・市民活動シアター／有料)
打合わせ、講演会、シンポジウム等で使えます。
- ロッカー(有料) レターケース(無料) 事務用ブース(有料)
- 交流サロン
少人数の打合わせに予約なしで使えるフリースペース(無料)
チラシ・ポスターの掲示、展示スペース
インターネット接続スペース(要申込/無料)
- 情報サロン
市民活動団体に関するさまざまな情報があります。
市民活動相談の受付や図書の見学・貸出も行っていきます。
市民活動に関する情報収集用 インターネット閲覧(無料)
- 印刷作業室
印刷機(紙持ち込み/1製版100円、紙折り機(無料))
コピー機(1枚10円)

■ 問い合わせ先 ■

発行 行：仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2008年5月22日
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人：小松州子 本田ふみ 葛西淳子



編集
後記

■ 案内図 ■



- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。
[最寄りのバス停]電力ビル前、商工会議所前、
広瀬通一番町前、地下鉄広瀬通駅前
[地下鉄]広瀬通駅西5番出口すぐ
- 当施設に駐車場・駐輪場はございません。
お車や自転車でご来館される方は、
周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。
注)路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者と
して、管理運営を行なっています。
指定管理期間：2007年4月1日～2010年3月31日